



$N$  を 5 以上の整数とする。

1 以上  $2N$  以下の整数から、相異なる  $N$  個の整数を選ぶ。ただし 1 は必ず選ぶこととする。

選んだ数の集合を  $S$  とし、 $S$  に関する以下の条件を考える。

条件 1 :  $S$  は連続する 2 個の整数からなる集合を 1 つも含まない。

条件 2 :  $S$  は連続する  $N - 2$  個の整数からなる集合を少なくとも 1 つ含む。

ただし、2 以上の整数  $k$  に対して、連続する  $k$  個の整数からなる集合とは、ある整数  $l$  を用いて  $\{l, l+1, \dots, l+k-1\}$  と表される集合を指す。例えば  $\{1, 2, 3, 5, 7, 8, 9, 10\}$  は連続する 3 個の整数からなる集合  $\{1, 2, 3\}, \{7, 8, 9\}, \{8, 9, 10\}$  を含む。

- (1) 条件 1 を満たすような選び方は何通りあるか。
- (2) 条件 2 を満たすような選び方は何通りあるか。



- (1) □ を付けた数を選んだ数とする。

集合  $S$  は 1 を必ず含むから、条件 1 を満たすような選び方は

$\boxed{1} \quad 2 \quad \underline{3 \quad 4 \quad \dots \quad N \quad N+1 \quad \dots \quad 2N}$

の下線部の 3 から  $2N$  の  $2N - 2$  個の数からどの 2 個も連続しないように

$N - 1$  個の整数を選ぶ方法である。

この選び方は、 $N - 1$  個の●と  $N - 1$  個の○を隣り合わないように並べる方法と同じである。

よって、 $N - 1$  個の●の間の  $N - 2$  ケ所と両端の 2 ケ所を合わせた  $N$  ケ所から、

○を入れる  $N - 1$  ケ所を選ぶ場合を考えて  ${}_N C_{N-1} = N$  通り。

- (2) 条件 2 を満たすような集合  $S$  に含まれる整数のうち

(I)  $N$  個の整数が連続する場合

・  $\boxed{1} \quad \boxed{2} \quad \dots \quad \boxed{N}$  が連続する整数となるとき、

この選び方だけであるから 1 通り。

(II)  $N-1$ 個の整数だけが連続する場合

・  $\boxed{1} \boxed{2} \cdots \boxed{N-1}$  が連続する整数となるとき,

もう1つの数を選ぶ際,  $N$ を除く残りの  $N$ 個から1個を選ぶ場合を考えて  ${}_N C_1 = N$  通り。

・  $\boxed{3} \boxed{4} \cdots \boxed{N+1}$

・  $\boxed{4} \boxed{5} \cdots \boxed{N+2}$

⋮

・  $\boxed{N+2} \boxed{N+3} \cdots \boxed{2N}$  が連続する整数となるとき,

1は必ず選ぶことから, それぞれ1通りずつあるので  $N$  通り。

よってこのとき,  $N+N=2N$  通り。

(III)  $N-2$ 個の整数だけが連続する場合

・  $\boxed{1} \boxed{2} \cdots \boxed{N-2}$  が連続する整数となるとき,

もう2つの数を選ぶ際,  $N-1$ を除く残りの  $N+1$ 個から2個を選ぶ場合を考えて

$${}_{N+1} C_2 = \frac{(N+1)N}{2} \text{ 通り。}$$

・  $\boxed{3} \boxed{4} \cdots \boxed{N}$

・  $\boxed{4} \boxed{5} \cdots \boxed{N+1}$

⋮

・  $\boxed{N+2} \boxed{N+3} \cdots \boxed{2N-1}$  が連続する整数となるとき,

1は必ず選ぶこと, そしてそれぞれ前後の数を除く残りの  $N-1$ 個から1個を選ぶ場合を考えて

それぞれ  ${}_{N-1} C_1 = N-1$  通りあるので, これらは  $N(N-1)$  通り。

・  $\boxed{N+3} \boxed{N+4} \cdots \boxed{2N}$  が連続する整数となるとき,

1は必ず選ぶこと, そして2,  $N+2$ を除く残りの  $N$ 個から1個を選ぶ場合を考えて

${}_N C_1 = N$  通り。

よってこのとき,  $\frac{(N+1)N}{2} + N(N-1) + N = \frac{1}{2}N(3N+1)$  通り。

以上, (I)(II)(III)より条件2を満たすような選び方は

$$1 + 2N + \frac{1}{2}N(3N+1) = \frac{1}{2}(N+1)(3N+2) \text{ 通り。}$$